

令和4年度4月例会

- 日時 令和4年5月4日(水)
- テーマ 歴史の地、佐倉市ゆかりの偉人を感じる名所めぐり
- 集合 9時00分(みどり児童公園)
- 参加者 35名
- 解散 12時50分(みどり児童公園)
- 距離 11キロ
- 案内役 リーダー:鈴木 正一、サブリーダー:浦壁 信彦、飯田 武和
- コース ①みどり児童公園⇒②宗園寺⇒③順天堂記念館⇒④旧堀田邸(WC)⇒⑤中央公民館(WC)⇒⑥正岡子規句碑⇒⑦ひよどり坂⇒⑧武家屋敷⇒⑨成徳書院跡⇒⑩佐倉城址公園正岡子規句碑⇒⑪麻賀多神社⇒⑫市立美術館⇒⑬みどり児童公園

佐倉市の名所を巡ります

雨で1週間順延となり、5月4日、GWの真ただ中での開催となりました。オミクロン株の影響で1月から3月までの例会が中止となっしまい、待ちに待った再開です。参加者は35名で、初参加の方も4名、いらっしやいました。GW中にもかかわらず、多くの方が参加され、嬉しい限りです。今回は市内の名所を巡りながら、佐倉ゆかりの偉人の足跡を辿るコースとなります。案内リーダーの鈴木さんは、NPO法人「佐倉一里塚」でガイドを担当されており、今回も名所でのスポットガイドをやっていただきました。ありがとうございました！！



(挨拶をする庄司会長と鈴木リーダー)

順天堂から旧堀田邸へ

みどり児童公園から「緑の坂」を上り、佐倉小学校、甚大寺、宗園寺を抜け、新町通りに出ました。ここから蘭学通りを歩いて佐倉順天堂に向かいます。「蘭学通り」という呼称は、幕末から明治にかけて蘭学(特に蘭医学)を学ぶ若者が多く通った道であったからでしょう。順天堂記念館は、近代西洋医学の発展に貢献した「佐藤泰然」を始め、多くの医学者の足跡を辿ることができます(今回は外観だけの見学)。次は旧堀田邸を目指します。旧堀田邸は、佐倉藩最後の藩主だった堀田正倫が明治23年に旧領である佐倉に設けた邸宅で、国の重要文化財に指定されています。最近では広瀬すずさん主演の「津田梅子～お札になった留学生～」のロケで利用されていました。私たちは、庭園で一休みしましたが、この庭園も国の名勝に指定されており、樹木と芝の緑がとても鮮やかでした。ここで、恒例の集合写真を1枚。



堀田邸さくら庭園にて

正岡子規の句碑

正岡子規は、佐倉を代表する人間国宝の香取秀真や洋画家の浅井忠とも親交がありましたが、新聞「日本」の記者だった頃、2回、開通したばかりの総武鉄道に乗って、佐倉の地を訪れています。その時詠まれた句碑が市内3か所にありますが、今回は、JR佐倉駅近くの小沼公園と佐倉城址公園にある二つの句碑を巡りました。ちなみに、もう1か所は馬渡の「下総まわし宿百観音」のそばにあります。季語に「冬され」や「霜枯れ」が使われており、寒い時期の訪問だったようですが、翌年、子規は結核で倒れます。当時から病気気味だったようで、句にも寂しさを感じられたのは気のせいでしょうか。



(小沼公園内の正岡子規の句碑)

ひよどり坂から佐倉城址公園へ

佐倉城が舌状台地上に築かれたため、佐倉は坂道がとても多い街ですが、その中でも一番有名な坂が「ひよどり坂」です。近年は、インスタ映えする竹林の小道として密かな観光スポットになっており、この日も多くの観光客で賑わっていました。

ひよどり坂を上り、武家屋敷、くらやみ坂を通り、佐倉城址公園に向かいます。

佐倉城址公園は、桜とあやめ(花菖蒲)が有名ですが、残念ながらあやめの見頃は6月上旬からです。ピーク時には、紫・黄・白など色とりどりの花菖蒲 9,000 株が美しく咲き誇りますので、是非、また訪れたい観光スポットの一つです。

今回はこのコースは、JRの「駅からハイキング」を参考にしており、佐倉の観光スポットをほぼ全て巡ることができました。改めて、わが街・佐倉の素晴らしさを再認識する例会となりました。解散後は気の合う仲間と、久しぶりのお昼を楽しんだことでしょう。(報告 伊香賀)



ひよどり坂を歩く